

## 豪雨災害による被害状況と復旧予定

山形大学上名川演習林では、平成30年8月5～6日に山形県内各所で発生した豪雨災害により、上名川演習林管理棟に通じる林道に掛かる橋の橋脚が洗掘され、護岸擁壁が崩壊する被害が発生しました。これにより、橋の通行ができず管理棟及び宿泊施設へ行くことができない状態となりました。

そのため、いくつかの実習や研究調査が実施できない状態となり、他施設等にて開催するなどの対応を行ってきました。

上名川演習林では、豪雪地帯ならではの雪山における活動をひとつの特徴として、様々な実習やイベントを冬季に開催しております。これらには毎年多くの大学生や、留学生、地域の子も達に参加してもらい、非日常的な豪雪地帯の森林を体験してもらっています。

これらのイベントを無事開催すべく、橋の再建計画が急ピッチで進められ、11月下旬に仮設橋が完成し、無事冬季イベントを開催できることとなりました。

現在は、本設工事に向けてボーリング調査等を行なっております。本設工事完了が再来年の予定となっておりますので、お立ち寄りの際は是非ご覧頂ければと思います。



写真1. 護岸擁壁崩壊被害状況



写真2. 左：被害橋 右：仮設橋



写真3. 仮設橋完成